

## 弘前大学エコサテライトキャンパス特別公開講座と連携した探究学習を実施して

青森県立木造高等学校深浦校舎 一年次主任 藤林美帆

今年度の一年次は十六名、全員が深浦町の出身です。円覚寺に参拝したことのある生徒は複数いましたが、寺宝館に入ったことのある生徒は一名のみで、地元には歴史ある寺院があるにも関わらず、それを知らないことをもったいなく思っていました。しかし、それが生徒が地域の歴史や文化に興味がないためではないことは、今回の講座を実施してよくわかりました。講座が始まると生徒は非常に興味深そうに解説を聞き、楽しそうに展示物や和古書を見ていました。機会さえあれば、関心を持って知識を得ようとする気持ちが生徒には十分あったことが実感できます。

そこに今回、渡辺教授が我々からの様々な要望に丁寧にお応えくださり、円覚寺や町教育委員会の皆様にも多大なご協力を賜ってこのような講座を実施することができ、地元でしかできない学びを実現できたと思います。もちろん、我々教員が教えられることもありますが、やはり現地で、本物を目の前にしてお話を聞けたことが、生徒の好奇心をより刺激したものと思います。

さらに、生徒にとっては円覚寺や深浦町について学ぶことに加え、今後の探究活動につながるさらなる学びがあったと思われれます。本講座を受講した一年次は、来年度には観光客に町内を案内する「駅からハイキング」を実施する予定です。深浦町の魅力を発信するため、何をどのように伝えるべきかを考えることとなりますが、これまでの生徒の活動の様子をみると、調べ物と言えばインターネットからの情報収集に頼りがちになり、簡単なワードで検索して出てこないものはすぐに「わからな

い」と決めつけてしまう場面が目につきました。

しかし、町外からの観光客を相手に町を紹介することを考えれば、求められるのはインターネットから得られる情報の受け売りではなく、実際に現地にきてよかつたと思ってもらえるような話や体験を準備することです。今回の講座では、円覚寺について知り尽くした方や専門的な知識を持った研究者それぞれがその立場でなければできない解説をしてくださったことで、生徒自身がそのことを実感し、地元だからこそできる情報収集や情報発信の方法があると気づくきっかけになったのではないかと思います。

地域と連携した取り組みを積極的かつ柔軟に実施することができるのは、小規模校である本校の利点の一つです。また、幸いにも生徒のためにご尽力くださる関係者の皆様にも恵まれ、このような学びの場を得られました。ご協力くださった皆様に感謝申し上げます。